

# 女川町災害支援活動『写経会及び「みんなで夏祭り」』報告

主催：東京教化伝道センター（東部伝道センター及び防災部・西部教化センター・南部教化センター・北部広報委員会）・浅草仏教会（共催）

後援：日蓮宗宗務院伝道部・全日本仏教会・女川町社会福祉協議会

協力：東京南部社会活動部会・日蓮宗女性教師の会・NVN・全日本仏教青年会

開催日時：平成25年7月25日（木）～27日（土）

開催場所：女川町地域福祉センター・女川町石巻バイパス仮設住宅・新田仮設住宅・女川港・雄勝町・石巻市

開催背景：震災直後の4月に女川町にて炊出しや物資配布を行い、それがきっかけとなり同年8月に傾聴カフェを行い、その後も継続して傾聴活動や仮設住宅におけるコミュニティ再生の一助となるべく『さんまパーティー』や『牡蠣まつり』などを行ってきた。今までの活動により女川町主催の「写経会」を日蓮宗に担当依頼があり、写経会を実施した。また同様の活動を行ってきた浅草仏教会と今回は「みんなで夏祭り」を共催で開催する運びとなり当企画が実施された。

実施内容：①女川町主催「写経会」に協力

- ②メッセージ付き簡易写経
- ③仮設住宅で盆踊り・カラオケ大会
- ④落語の会・チベット体操
- ⑤仮設住宅集会所で慰霊法要
- ⑥女川港にて施餓鬼法要
- ⑦被災地復興状況見学

内容詳細

- ① 写経会：この写経会は女川町社会福祉協議会が主催で、我々が協力ということで実施された。現在、被災地では供養をしたいということで写経のニーズがあり、今回は女川の広報誌にて全世帯に案内がなされ、日蓮宗新聞社の自我偈写経を用いて実施した。

集まった自我偈写経

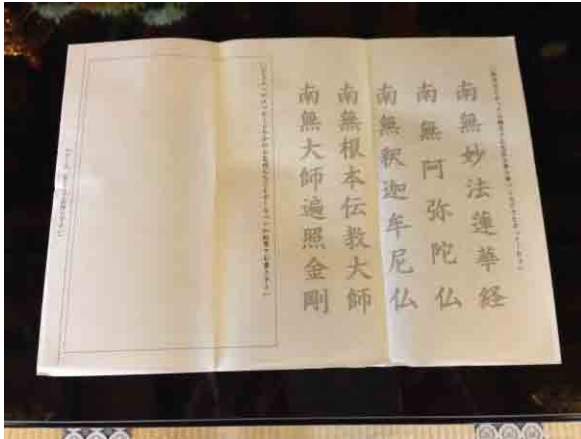


写経風景



- ② メッセージ付き簡易写経：お題目などの写経と大切な方へのメッセージ・戒名等を書くことのできる水溶性紙製の写経用紙を作成し、事前に石巻バイパス仮設住宅・新田仮設住宅に配布し実施した。

メッセージ付き写経用紙（女川町は曹洞宗の檀家が多い地域）



- ③ 盆踊り・カラオケ大会：石巻バイパス仮設住宅は東西に1キロ離れていることもあり、東西で各自治会を形成している。しかし、日常的に東西自治会の行き来があるわけではなく、各ボランティア団体もどちらか片方の集会所で活動を行ってきたため、東西での温度差が生まれている。その為、東京教化伝道センターでは常に両集会所でイベント等を行って、東西集会所・更には仮設住民内の温度差を解消し、コミュニティー再生を目指し活動してきた。そこで、今回は石巻バイパス東集会所ではやぐらを組んで盆踊り、西集会所ではカラオケ大会を行い、送迎車を用意することで東西住民が行き来できるよう実施した。また、浅草仏教会では日頃より活動している新田仮設住宅にて盆踊りを実施した。

盆踊りには近隣の子供会も参加  
やぐら近くに子供広場も設営



屋外で舞台を設けて開催する予定が雨天により集会所内で開催



屋台として焼きそば・かき氷  
ポップコーンなど



地元産の魚介類でB B Q

流しそうめん



カラオケ会場にて



19時半まで住民と楽しむ

幼児から小中学生まで多くの子供も  
参加



- ④ 落語の会・チベット体操：浅草仏教会より真打ちの落語家古今亭志ん陽氏による落語の会と、東京北部妙見寺から参加の草野千穂氏によるチベット体操を実施した。

古今亭志ん陽による落語



草野千穂氏によるチベット体操



- ⑤ 集会所慰霊法要：メッセージ付き簡易写経を各集会所で集め、そこで法要を実施した。

生駒雅幸師導師にて法要



- ⑥ 女川港施餓鬼法要：前日集会所で集めたメッセージ付き簡易写経を用い、海施餓鬼を行った。そして、その際に写経用紙を海に流し供養した。

女川港にて施餓鬼法要を



写経用紙を海へ



- ⑦ 被災地復興状況見学：雄勝町・大川小学校跡・石巻市沿岸部にて調査を兼ねて見学

雄勝病院跡地



以前の雄勝病院



大川小学校跡地



立入禁止内に新しい供養塔

雄勝町内の曹洞宗寺院



石巻日和山神社より沿岸部を



震災直後の石巻沿岸部



石巻西光寺



震災直後の西光寺

